



Component
Square, Inc.

コンポーネント・コミュニティの形成に向けて

2002年2月20日

株式会社 コンポーネントスクエア

ビジネス開発担当 栗林 亘

<http://www.c-sq.com/>

E-mail:info@c-sq.com

TEL:03-6229-4841 FAX:03-6229-4844



Component
Square, Inc.



これまでの経緯

- ◆ 2001年11月7日：
「OOT(オブジェクト指向技術)コミュニティの設立」
を発表
 - オブジェクト指向技術/コンポーネントベースのソフトウェア開発技術に関する業界発展を目指す
- ◆ 2002年1月22日：
@IT内のソフトウェア開発者向けコミュニティサイト
「Development Style」の支援を発表
 - スポンサーシップ、情報/事例提供、コミュニティの活性化を目指したセミナー等の啓蒙活動

コミュニティの位置付け

【コンポーネントスクエア会員コミュニティ】

取引対象は法人会員、情報提供対象はその社員(法人ユーザ会員)

【Development Style コミュニティ】

ソフトウェア開発に関わる個人が対象

●法人会員として
マーケットプレイスへ



- 情報提供
 - 事例紹介
 - 啓蒙活動
- UML、OOT、CBD

コンポーネントスクエア マーケットプレイス

●コンポーネントの
登録、流通



コンポーネントスクエア
会員企業



コンポーネントスクエア
会員企業



●情報提供
●ノウハウの共有



コンポーネントスクエア会員コミュニティの技術交流

- ◆ 第1回技術情報交換会(2001.12.13) テーマ:「コンポーネント開発の実践」
 - 「J2EEパターン及びフレームワークによる開発の実践」
 - アーキテクチャとフレームワークの概念整理、Struts・Petstore・BluePrints・J2EEパターンの解説、J2EEパターンの実装例紹介
 - 「コンポーネント開発技法」
 - チームエンジニアリングにおけるフレームワークの導入効果、コンポーネント流通の土台としてのフレームワーク、実際に各社が持ち寄ったコンポーネントの接続事例紹介
 - 「講師・パネリストと会場を交えたディスカッション」
 - フレームワークの商品価値、フレームワークは統一されるべきか、複数存在しても良いのか

- ◆ 第2回技術情報交換会(2002.2.26) テーマ:「コンポーネントの社内流通戦略」
 - 「コンポーネントの再利用戦略」
 - Mr. Grant Larsen Director, Reuse Strategies, Rational Software Corporation
 - RAS (Reusable Asset Specification)
「ソフトウェアを再利用可能な資産として流通させるための仕様」
 - 「講師・パネリストと会場を交えたディスカッション」
 - モデルの再利用と実装コンポーネントの再利用、社内流通の体制、etc.

- ◆ 資料と議事録を、会員限定のコンテンツとしてサイトに掲載



Component
Square, Inc.

コンポーネントスクエアのご紹介



Component
Square, Inc.



会社概要

| | |
|---------|---|
| 会社名 | 株式会社 コンポーネントスクエア Component Square, Inc. |
| 資本金 | 2億2800万円 |
| 設立 | 2001年1月12日 |
| 代表取締役社長 | 田村 俊明 |
| 所在地 | 東京都港区赤坂4丁目1番地31号 アカネビル6F |
| | TEL: 03-6229-4841 |
| | FAX: 03-6229-4844 |
| URL | http://www.c-sq.com/ |
| E-Mail | info@c-sq.com |



株主構成

- ◆ 住商エレクトロニクス株式会社
- ◆ 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
- ◆ 株式会社日本総合研究所
- ◆ エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
- ◆ 株式会社アグレックス
- ◆ NECソフト株式会社
- ◆ 株式会社オージス総研
- ◆ 住商情報システム株式会社
- ◆ テクマトリックス株式会社
- ◆ 株式会社デュオシステムズ
- ◆ 東芝ITソリューション株式会社
- ◆ 日本アイ・ビー・エム株式会社
- ◆ 日本電気株式会社
- ◆ BEA Systems, Inc.
- ◆ 株式会社野村総合研究所
- ◆ 日立ビジネスソリューション株式会社
- ◆ 株式会社豆蔵



設立趣旨・経営理念

◆ 設立趣旨

- EJBコンポーネントのオープンな流通市場を創設する。
- EJBの普及、EJBコンポーネントの再利用を促進する。
- EJBコンポーネントの再利用技術標準化を推進する。

◆ 経営理念

- 部品化・再利用の推進により、ソフトウェアの開発生産性向上に寄与する。
- 洗練された部品の再利用により、ソフトウェアの信頼性向上に寄与する。
- 全てのソフトウェア開発者が人間らしい生活を送るため、製造行程の近代化に寄与する。



ソフトウェア・コンポーネントの流通へ

- ◆ EJBコンポーネントに関するコンソーシアム
 - 2000年10月6日設立。NTTコムウェア、日本IBM、富士通、日立ソフト等6社が発起人
 - EJBコンポーネントの可搬性を実現するための規約策定とその普及を目的
- ◆ 株式会社コンポーネントスクエア
 - 2001年1月12日、13社の出資により設立。
(2002年1月に増資、現在株主17社)
 - EJBを中心とするソフトウェア・コンポーネントのマーケットプレイス



Component
Square, Inc.

会員制度とサービスの概要



Component
Square, Inc.



コンポーネントスクエア (CSQ)とは

- ◆ マーケットプレイスの運営と商品取引を行う会社
 - EJBを中心とするソフトウェア・コンポーネントのマーケットプレイス
 - 「サーバサイドJava」がキーワード
 - コンポーネント、フレームワーク、コンポーネントパッケージ、開発ツール、関連サービスをワンストップで提供
 - 単なるポータルサイト・マッチングサイトではない
 - CSQが取引主体となり、商品流通(代金決済、ライセンス/配布等)を行う
 - 単なるマッチングだけでは、コンポーネントの流通は進まない
 - 信頼感のある会員制のマーケットプレイス
 - 特定のベンダーに依存しない、中立的な立場
- ◆ 提供された商品に関する技術サポートは行わない
 - 商品の技術サポートは、商品提供者にお願いする
- ◆ システム開発会社ではない
 - 自らSIやシステム開発は行わない
 - 商品流通に伴うSIやシステム開発は、全て会員にお願いする



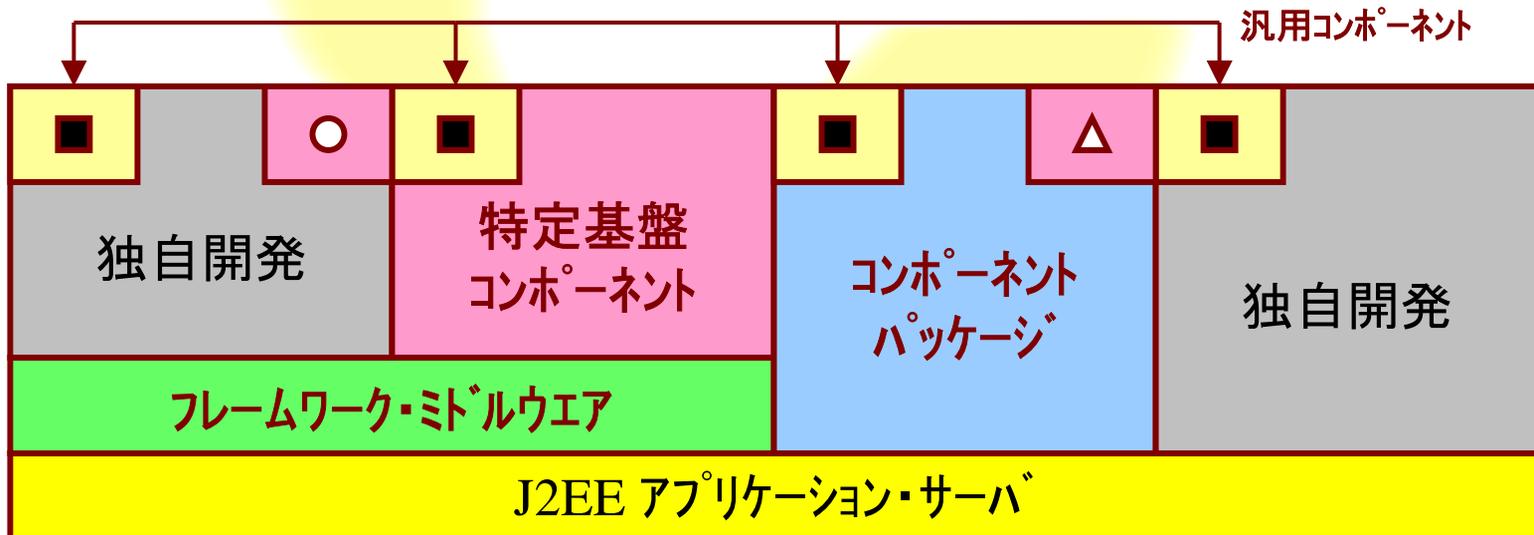
CSQで扱う商品の種類(1/2)

1. EJBコンポーネント及びそれに付随するソフトウェア
 2. Javaで作成されたサーバサイドのソフトウェア
 3. Javaでの開発及び実行に必要なソフトウェア
 - ◆ EJBコンテナ、開発ツール、テストツール等を含む
 4. 上記の関連サービス(教育等)
- ※ 1・2には、クライアントサイドの付随Java部品を含む
- ※ 1・2は、さらに次項①~④に分類される



CSQで扱う商品の種類(2/2)

- ① フレームワーク・ミドルウェア
 - 開発やコンポーネント利用の基盤
- ② コンポーネント・パッケージ
 - パッケージ化されたコンポーネント製品
- ③ 特定基盤コンポーネント
 - 特定のフレームワーク・ミドルウェアやコンポーネント・パッケージ上でのみ利用可能なコンポーネント
- ④ 汎用コンポーネント
 - フレームワーク・ミドルウェアやコンポーネント・パッケージに関わらず利用可能なコンポーネント





会員制度

- ◆ 法人間の取引に際し、信頼感のある市場を形成するため、市場への参加には会員登録を前提とする。
- ◆ CSQを通じ、法人会員間におけるソフトウェア・コンポーネントの流通を促進することが目的。
- ◆ コンポーネント流通に関するCSQからの情報提供、会員間での情報交流を通じ、CSQ会員コミュニティを形成する。



会員様のメリット

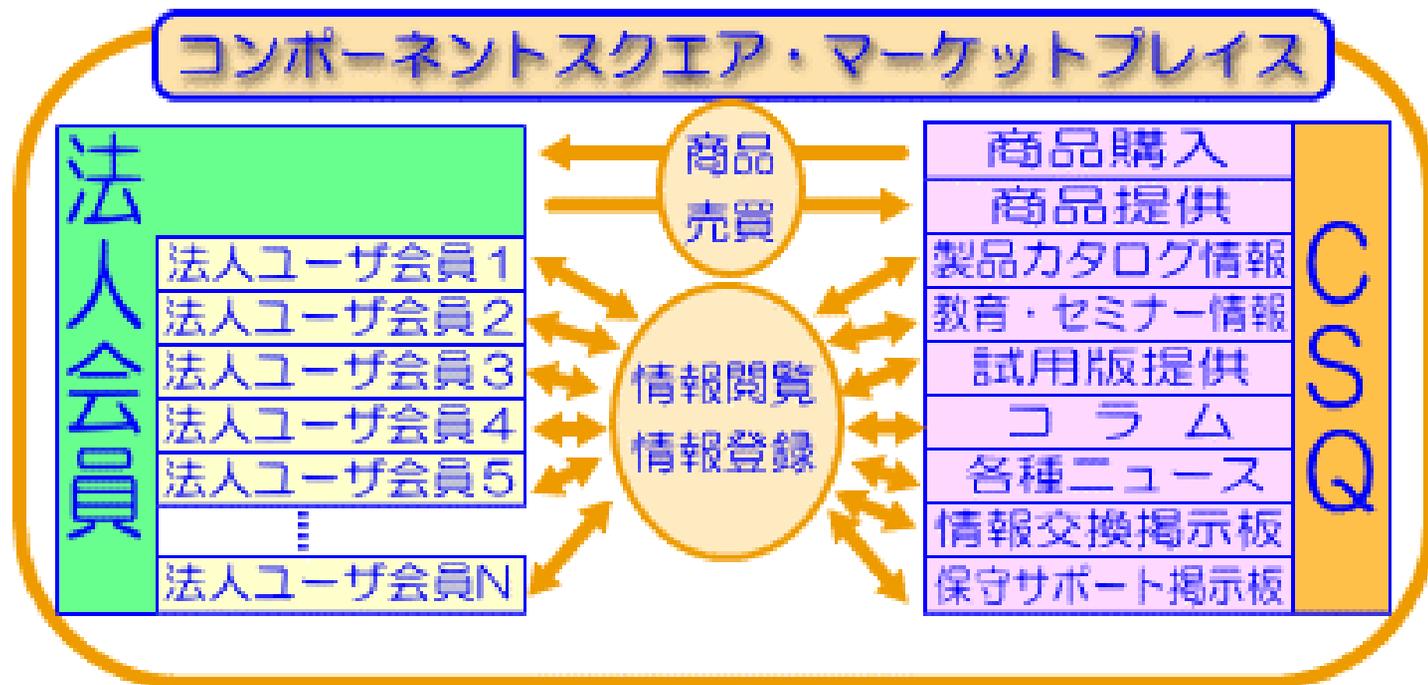
- ◆ マーケットプレイスに提供された商品を、CSQからご購入いただけます。
- ◆ マーケットプレイスに商品を提供し、CSQを通じて商品の販売を行うことができます。(商品登録費が別途必要)
- ◆ CSQからの各種情報提供を受けることができます。
- ◆ CSQの会員コミュニティに参加し、会員間での情報交流やノウハウ・ナレッジの共有を図ることができます。
- ◆ その他CSQが会員限定でご提供する各種サービスをご利用いただけます。



入会の条件

- ◆ **CSQへの会員登録申込** (規約同意の上で申込書に記入・捺印)
⇒CSQにて審査の上、登録
- ◆ **年会費:30万円**
 - 会員向け提供サービスの対価
 - 商品供給、権利許諾、与信供与における最低限の信頼度
- ◆ **サプライヤーとバイヤーの区別は設けない**
 - 会員はどちらの立場にもなり得る

会員制度-法人会員と法人ユーザ会員



法人会員

- 契約単位(年会費30万円)

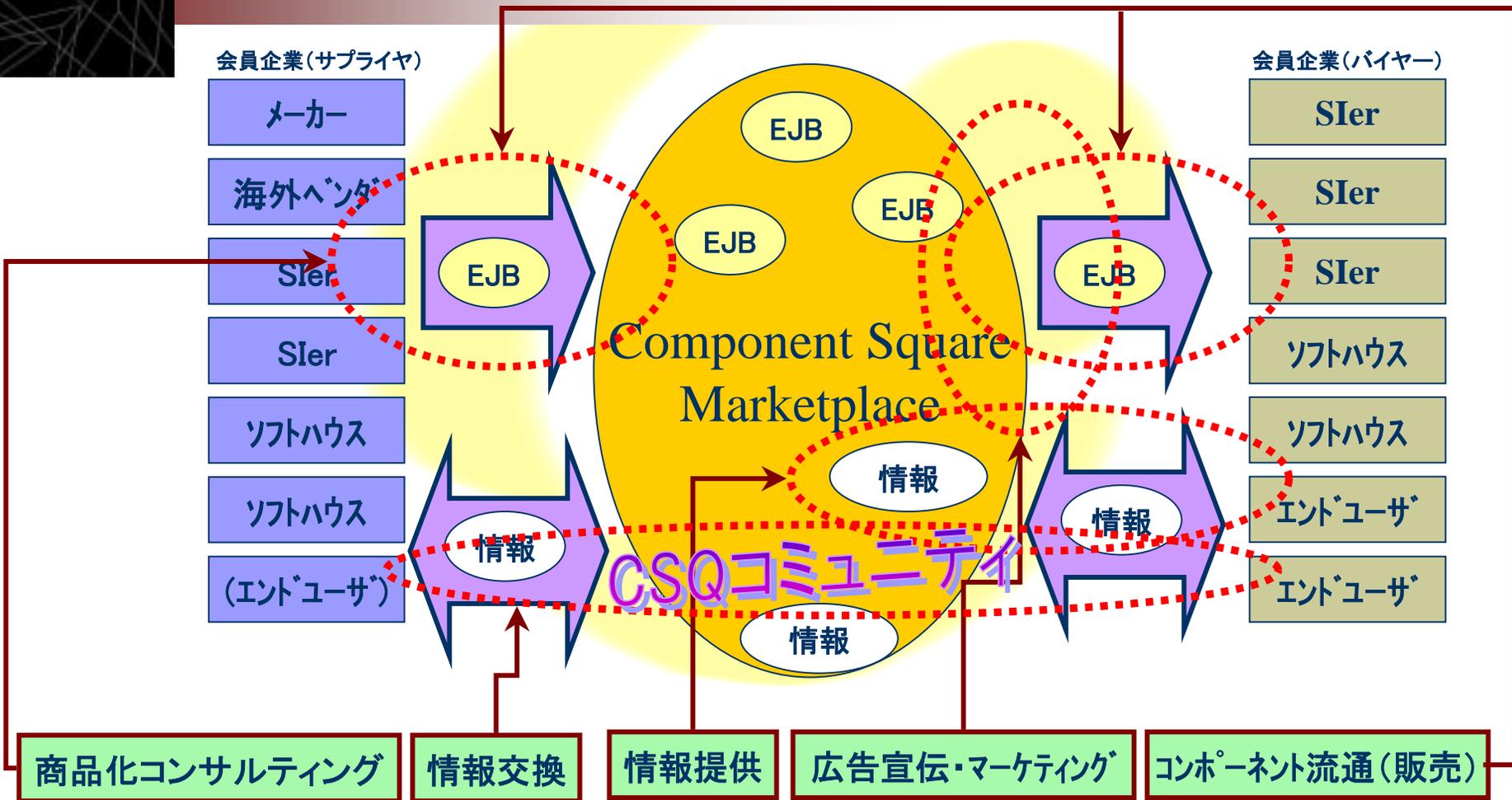
法人ユーザ会員

- サービス利用単位(登録費用は無料)

- ・法人会員の社員であることが条件となります。
- ・原則として、CSQのサイト上でご登録いただきます。



会員様にご提供するサービス





Component
Square, Inc.

各種キャンペーンのご案内



Component
Square, Inc.



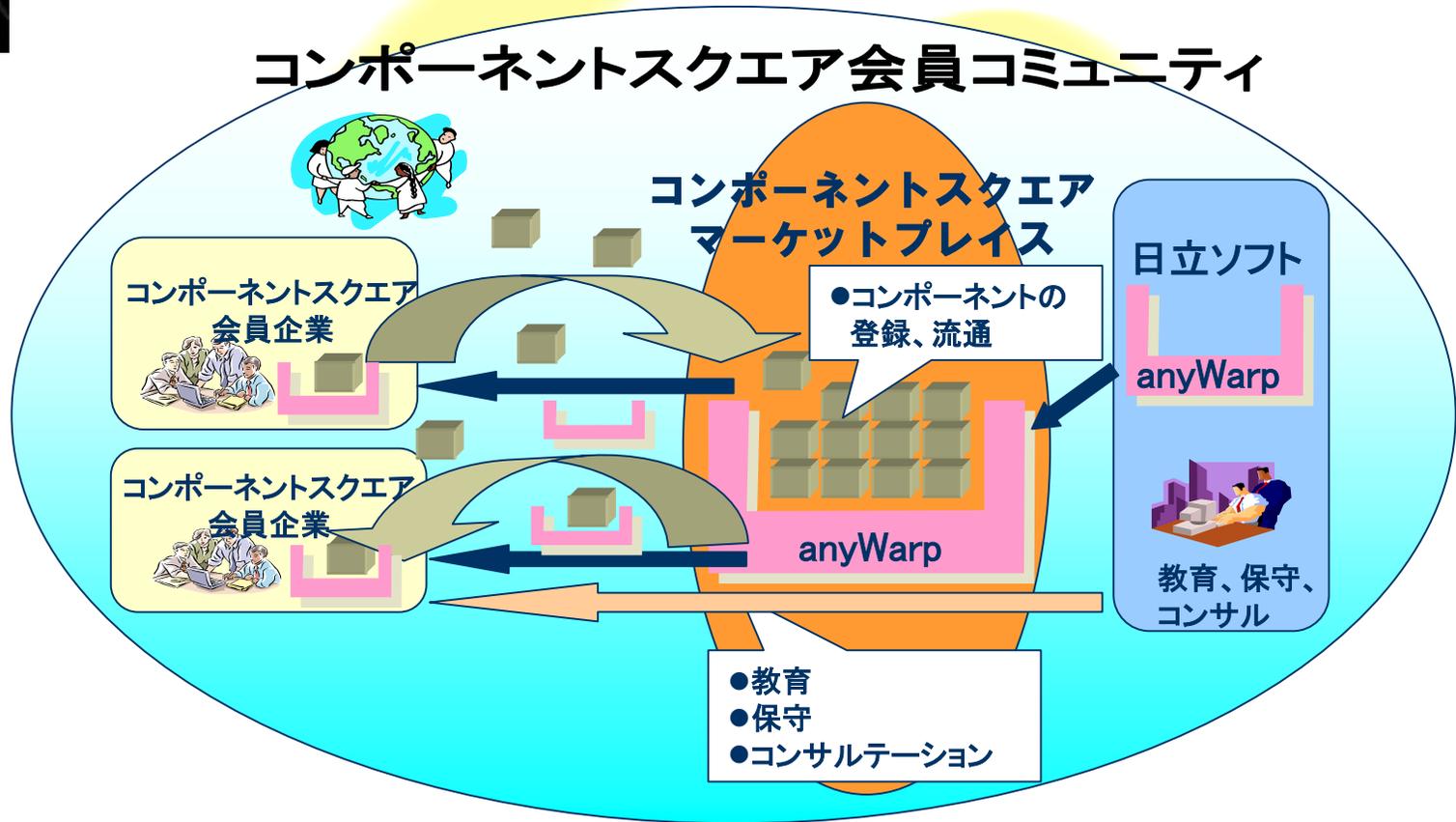
日立ソフトのフレームワーク Assam anyWarp 体験キャンペーン

- ◆ コンポーネントスクエア法人会員を対象に、以下の特典をご提供

| 特典 | 標準価格 | キャンペーン価格 | 期限 |
|---|-----------------|-------------------------|--|
| Assam anyWarp Developer Edition (5ライセンス、改変権なし) | ¥1,000,000 | ¥178,000 | 2002年3月31日 注文分まで |
| @サービス24(保守サービス) ・インストール・セットアップ等、環境構築に関するQ&Aサポート (土日祝日及び日立ソフト休日を除く9-18:00) ・価格追加を伴わないバージョンアップ版、 リビジョンアップ版の提供 | 製品標準価格 × 16% | 無償 ※上記の購入が前提。 | 2002年6月30日 ※期限経過後の サービスご利用には、 購入製品標準価格の 16%がかかります。 |

弊社サイト：<http://www.c-sq.com/> トップページ上段のバナーから、キャンペーンへの参加手順をご確認いただけます。

コンポーネントの登録・流通



会員様が開発されたコンポーネントの登録・流通をご支援致します。



コンポーネントの流通支援

- ◆ 商品化支援
 - 商品形態
 - 価格付け
 - ライセンス契約
 - カタログ情報のテンプレート
- ◆ マーケティング支援
 - プレスリリース
 - Webサイトへの掲載
 - 製品カタログ
 - 事例紹介、コラム
 - メールマガジンによる告知
 - セミナー
 - 会場、集客、運営
- ◆ 流通支援
 - ダウンロードサイトの提供
 - CD-ROMへの複製・配布
 - ライセンスキーの代理発行
 - ライセンス管理
- ◆ サポート支援
 - Q&A掲示板の提供
 - 保守契約管理
- ◆ 与信管理
 - 代金回収
- ◆ 販売政策
 - 他ベンダとの連携支援
 - 他商品とのパッケージング



WebSphere パートナー・プログラム

WebSphere パートナー・プログラムは、ビジネス・パートナー様のご協力のもとに、WebSphere ビジネスを一層拡充していくことを目的とした法人コミュニティです。日本IBMが、WebSphereをベースとしたビジネスを展開されるパートナー様を対象に、各種サービスをご提供致します。

【対象】WebSphereを対象としたソリューション製品の開発を行っていただけるITベンダー様
【前提条件】法人単位。入会金、年会費は不要。

WebSphereパートナー (ISVなど)



強かにバックアップ

WebSphereパートナー・プログラム

Partner World for Developers

IBMソフトウェアを対象としたソリューション・パッケージを開発される、
ISV様をご支援するパートナー・プログラム



【コンポーネントスクエア法人会員限定】 WebSphere パートナー・プログラム 入会促進キャンペーン

- ◆ 対象：
 - コンポーネントスクエア法人会員
 - 新たにWebSphere上でコンポーネントを開発またはポーティングし、コンポーネントスクエアのマーケットプレイスを通じて、その再販を行っていただけるITベンダー様

※コンポーネントスクエア及び日本IBMによる審査あり。
- ◆ 費用：
 - 無償(コンポーネントスクエア年会費のみ)
- ◆ 特典：
 - ポーティング・センターのご利用
 - 日本語によるQ&Aサポート
 - The IBM DeveloperToolboxのご提供



WebSphere パートナー・プログラム入会促進キャンペーン 【お申込手順】

コンポーネントスクエア非会員

※弊社サイト: <http://www.c-sq.com/> トップページ上段のお知らせ
コーナーから、キャンペーンへの参加手順がご確認いただけます。

↓ 法人会員登録

